



発行  
 浮田地区コミュニティ会議  
 電話&FAX  
 0198-42-1681



振興センター北側の日周運動  
 9/30「ホシミネスカ」撮影  
 (奥州宇宙遊学館出張観察チーム)

タイトル画説明  
 色合いの違う赤い実の季節。上から朱色のウメモドキ、茶系のベンガラ赤はヒイラギ、桃色の皮に包まれた真紅のマユミ、ヤマユリに絡みついたツルリンドウの深い紅色、アキノキリンソウの黄色い花。  
 絵・文(実)

## この秋 浮田の夜空は きれいだ!!

天候に恵まれて10月1日、星空観察会が開かれました。星空ナビゲーター・ホシミネスカから派遣された講師の方々の指導のもと、星座のシートを作り、ペイント。『宮沢賢治』の童話にひたり、星を仰ぎ見る。庭に移動し、星の星座シートをかざして、基準星を見つけました。親子でブルーシートに寝そべり星を探す。『賢治さん』も見たであろう同じ夜空。星巡りの世界に引き込まれそうな夜でした。

みなさん、月や星を見て、夜を楽しんでみてはいかがですか?!!  
 (二三恵)



## 「震災復興研修」

9月8日、震災から11年が経過した陸前高田市へ、13名の参加で復興研修に行ってきました。

市内は整地が進み、建物もあちらこちらに出来てはいるものの、以前の街並みを思えばまだまだと感ぜま

を痛感させられました。気仙大工左倉伝承館では、係の方から建築技術の素晴らしさと、この場所にある「希望の灯り」の説明を受けました。これは神戸にある「希望の灯り」を分灯したもので、海が見えるこの地が良いということ設置されたそうです。



道の駅「高田松原」では、防潮堤の献花台に花を供え、黙祷を捧げました。

その後一本松や津波伝承館で当時の惨状を目の当たりにし、改めて震災の怖さを



大船渡市へ移動し、昼食後はさいとう製菓総本店へ。多勢の子ども達(社会科学見学?)に囲まれながら、皆さん沢山お土産を手に帰路に着きました。

これからも様々な形で被災地の応援をして行きたいと思つた研修でした。(賢)



# 三年振り開催



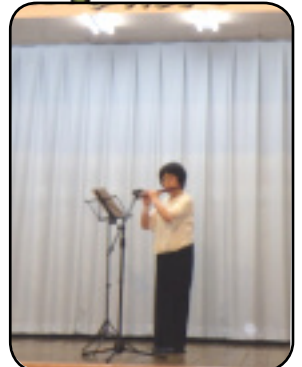
コミュニティ会議最大のイベント「芸農まつり」はコロナ禍の影響で中止を余儀なくされてきましたが、感染者減少傾向を受けて、10月30日「第13回芸農まつり」が開催されました。実行委員会では「どうすれば出来るか!」を慎重協議の結果、旧保育園園舎(作品展示)と園庭(軽トラ市)を使用して行う事となりました。

初めての試みの軽トラ市では、地場産の野菜が大量に出品され又、ステージでは子ども達の踊りが披露される等、およそ百人の来場者は秋晴れの日を楽しみました。

毎回訪れていると言う80代女性は『この頃は何でも



中止で淋しい思いをしていましたが、久しぶりに皆に会えて嬉しかった』と笑顔で話していました。(浩)



# 「縄文の暮らしを知る」歴史講座

10月12日、14名の参加で、昨年7月に世界遺産に登録された一戸町の御所野遺跡で講座が開催されました。始めにボランティアガイ



ドから遺跡の時期、期間、縄文時代の暮らしは自然との関係で川や広葉樹の森から食料、建材、燃料、衣類に至るまで恵みを受けてい

## 「お茶を楽しむ」豊かな食づくり事業



11月9日、振興センター研修室には、季節を感じさせるモミジ絵の掛け軸やツワブキの花が飾られ、お香の香りがさりげなく漂う中、第一回茶道教室が開かれま

した。参加者は茶道に関心がある7名の方々。講師の宗偏(そうへん)流多田ふみ子(宗文)氏から茶道の歴史やお茶の作法について教えて頂いた後、お菓子と抹茶をいただく「あく、おいしい」と、ホッと気持ち



落ち着かせた皆さん。「茶道の礼儀作法は色々な場面でのマナーに通じているわね」という感想が聞かれました。そして二杯目は自分で点てることに挑戦。「点ててもらったお茶の方が美味し

### リレーエッセー

## 他と違う場所!?

天神様の古民家で「水彩画二人展」を先日開催致しました。私達二人と縁の有る方々が、絵画・趣味の物を見にいらつしゃいました。

その中で、絵画仲間のご主人I様が開口一番に、「この場所の風景は他と違う!!」と言いました。そして、古民家の上にある菅原神社を見に行きました。はるか昔、後の山沿いには、「鍋倉館」がありましたし、江戸時代中期〜明治初期まで修験者五代続いた所でした。

I様は轟木在住の方で、百姓一揆の研究で各地域を見て回っているもので、石持に来て感じるものがあつたんだなあと思いました。

このような場所で展示会を開催できた事に、改めて良かったとつくづく感じました。

(石持 佐藤 清子)

## ゆるゆると

カントリーヘッジ (羊の生垣)

落葉の季節、羊たちは草地に出ると草ではなく桑の落葉をまつ先に喰む。

毎朝羊と一緒の草地を歩くのは、羊を観ることが第一だけれど、秋は胡桃の実を拾う楽しみも。胡桃は今年大豊作でいつもの倍以上一時間半も草地を歩いている。目で探した足裏の胡桃拾い。目で探した足裏が実の丸味を感じしての胡桃拾いはおもしろい。

ふとお便りをおもいつき、木の根元何ヶ所かに実を置いた。11月に入り胡桃拾いも終わり。羊の夕餉にと桑の落葉拾いをはじめたある朝、異猫むんとかついできた。カラスが木の上からむんとを威嚇して鳴く。むんとは知らん顔。低い枝に移りカラスはまた威嚇。そして草地に降り、胡桃をくわえて飛び去った。

胡桃好きの小さな誰か：例えばリスや野ねずみは想定していたけれど、からすも胡桃好きの仲間だった。冬真近！

(山本 実紀)

# 演奏・露店・初の催しに満喫

初の音楽イベント「D  
田舎☆サマーフェス」  
が8月27日、浮田振興セ  
ンターを会場に開催され  
ました。

夏の終わりの屋外ライ  
ブと銘打つてのイベント  
は、地域内外からたくさ  
んの愛好者たちが集まり、  
往年のエレキサウンド  
「ベンチャーズ」のメド  
レーに昔を懐かしむ人も  
多く見られました。

演奏したのは、ベンチャ  
ーズのリードギター「ノー  
キー・エドワーズ」さん  
からギターを頂いたとい  
う、花巻市小瀬川在住の  
高橋廣行さんです。



このほか下浮田の千葉  
久さんは、民謡界の新星  
「高橋奨吾」さんを携え  
て、津軽民謡をはじめ、  
会場からリクエストされ

た民謡も披露されました。  
千葉さんの津軽三味線  
を修行された腕前に会場  
は大いに盛り上がりまし  
た。



また、上浮田在住の肥  
田葉子さんは、10歳から  
嗜んでいるアコーディオン  
演奏を披露しました。  
哀愁ある音色が魅力の  
アコーディオンをポップ  
調に演奏したり、スクリー  
ンに映し出された映像に  
コラボしたりと、とても  
ノスタルジックな気持ちに  
包まれた時間でした。  
このほか、昔の写真を  
集めた「思い出のスクリー  
ン」も好評でした。自分



## 事務局だ報より

### 交通危険個所に看板設置

○事故やヒヤツとする事が  
少しでもなくなればと「長  
い下り坂注意」を平野リン  
ゴ園付近と中山峠手前に、  
「この先カーブ注意」を弘  
法大師霊場付近に2枚、計  
4枚設置しました。



が写っている写真が映し  
出されると、会場から思  
わず「あつ、私」との声  
が。  
屋外の屋台村も多くの  
お客さんで賑わい、即完  
売となる商品も出るほど



### 各公民館に

### 非接触体温計設置

○中内、石宮、島、高屋、  
太田目、下浮田、毒沢の各  
公民館にオートディスプレイ  
サー(アルコール消毒)付  
き非接触温度計を設置しま  
した。(輝)



## 編集後記

今年の夏は、暑い日が短  
かったように思います。雨  
の日が多く「ジメジメ」と  
続き、なかなか洗濯物が乾  
かず、皆さん大変だったと  
思います。

しかし今年の秋の「紅葉」  
は、中内に引越して3年、  
今までで一番綺麗だったと  
思います。特に「赤」の色  
が鮮やかでした。  
今年の冬は雪が少ないの  
を願うばかりです。(郁)

編集委員長

平野 浩一 (宮田)

編集長

山本 実紀 (毒沢)

編集委員

山口 友恵 (宮田)

千葉 三恵 (中内)

多田 辰雄 (上浮田)

千田 浩志 (毒沢)

小田島賢志 (下浮田)

渡辺 郁美 (中内)

題字

千葉 稔 (下浮田)

事務局

藤井 輝雄 (中内)  
小田島多賀子 (下浮田)